

やまのへのすくねあかひと  
山部宿禰赤人の作る歌一首 并せて短歌

九三八番

やすみしし 我が大君の 神ながら 高知らせる  
いなみの 大海の原の あらたへの 藤井の浦に  
しびつ 鮪釣ると 海人舟騒き 塩焼くと 人そさはにあ  
る 浦を良み うべも釣はす 浜を良み うべも  
しほや 塩焼く あり通ひ 見さくも著し 清き白浜

反歌三首

九三九番

おき なみ 沖つ波 辺波静けみ 漁りすと 藤江の浦に 舟  
さわ ぞ騒ける

九四〇番

いなみの 印南野の 浅茅押し並べ さ寝る夜の 日長くし  
いへ あれば 家し偲はゆ

九四一番

あかしがた 明石潟 潮干の道を 明日よりは 下笑ましけむ  
いへちかづ 家近付けば